

しんち 議会だより

2017・10・20
No. 155



〈9月定例会〉

- 定例議会の概要 ○○○○○○ 2～7
- 決算審査
 こんな質問が ○○○○ 6～7
- 町政を問う ○○○○○○○○ 8～13
- 常任委員会レポート ○○○ 14～15
- 議会日誌／編集後記 ○○○○○○ 16

交通事故ゼロをめざし

秋桜が揺れる中、福田小学校児童らは、なごみの里から勤労青少年ホームまでのコースを、交通安全と防犯を呼びかけパレードしました。

(写真 福田地区防犯・交通安全パレード 9/27)

中島地区に定住促進住宅を建築、 駒ヶ嶺公民館建設用地を取得

定例議会の概要

平成29年第4回定例会は、9月7日から21日までの15日間の会期で開催され、教育委員会教育長並びに教育委員会委員の任命、新地町中島地区定住促進住宅建築工事請負契約、駒ヶ嶺公民館（体育館）建設用地の取得、一般会計・特別会計補正予算、平成28年度の各会計決算認定など21議案を審査し、原案のとおり可決しました。
また、19・20日には、5名の議員が一般質問を行いました。

人事

○教育委員会教育長の任命
現教育長の佐々木孝司氏を、適任者として引き続き任命することに全会一致で同意
任期は平成29年10月1日から3年



○教育委員会委員の任命
小林成子氏（作田）を、適

佐々木孝司氏

任者として任命することに全会一致で同意
任期は平成29年10月1日から4年



小林成子氏

契約

○釣師浜漁港荷捌き施設建設工事請負変更契約
建設中の釣師浜漁港荷さばき施設内の側溝及び舗装

等の外構工事の追加を行うにあたり、工事請負額3,337万2千円を増額変更するもの
（全員賛成で可決）

○中島地区定住促進住宅建築工事請負契約
新地駅東側の復興土地区画整理事業区域内に、木造2階建て2棟8戸の定住促進住宅建築工事を行うため、設計施工者指名型プロポーザルによる基本協定に基づき、随意契約の方法により、大和ハウス東北美研特定建設工事企業体代表者（大和ハウス工業株式会社仙台北支社執行役員支社長）壹岐義人と、1億8,155万2千円で請負契約を締結するもの
（全員賛成で可決）



▲建設が進む釣師浜漁港荷さばき施設

●中島地区定住促進住宅建築工事概要

区分	数量等
建築本工事	木造2階建 1号棟(4戸) A=315.74㎡
	2号棟(4戸) 同上
※1戸あたり69.26㎡	
外構工事	物置2棟(8戸分) 自転車置場2棟
	駐車場整備 20台 植栽整備等 1式

土地の取得

○土地の取得
駒ヶ嶺公民館（体育館）建設用地として、新地町駒ヶ嶺字新町前29番1外2筆5,272平方メートルを購入するもの
（全員賛成で可決）

町道

○町道路線の変更
県道との接続及び道路改良により、町道田中大戸浜



線及び町道大戸浜富倉線の起点、終点、延長等を変更するもの
（全員賛成で可決）

町道路線の廃止

○町道路線の廃止
東日本大震災による釣師地区内沿岸部の防波堤及び防災緑地事業に伴い、町道釣師町裏線737.7以外6路線で、総延長1,338.7メートルを廃止するもの
（全員賛成で可決）

補正予算

○平成29年度一般会計補正予算（第2号）
歳入歳出それぞれ1億500万円を減額し、11億1,500万円とするもの

歳入補正の主なもの

復興基金繰入金で2億8,083万6千円、公共施設等整備基金繰入金で500万円をそれぞれ減額し、地方交付税で3,334万円、災害復旧費や地域創生総合支援事業などの

歳出補正の主なもの

財政調整基金積立金で6,280万円、復興交付金活用の道路改良で8,900万円、複合商業施設建設で1,540万円、ICT活用教育で1,351万2千円、駒ヶ嶺公民館体育館整備事業で1,300万円、農業用施設災害復旧費で2,000万円などを増額し、津波復興拠点整備事業の交流センター建設で3億7,043万6千円などを減額。

歳出補正の主なもの

人事異動による人件費が274万7千円、療養給付費還付金310万円、予備費に785万1千円をそれぞれ増額
（全員賛成で可決）

○平成29年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ2,400万円を追加し、歳入歳出それぞれ9億711万円とするもの
（全員賛成で可決）

歳入補正の主なもの
前年度決算による繰越金
2,400万円の増額

歳出補正の主なもの

前年度国・県等歳入還付
金で1,404万5千円、
予備費で968万5千円を
それぞれ増額
(全員賛成で可決)

○平成29年度公共下水道事
業特別会計補正予算(第
1号)

歳入歳出それぞれ、2,
170万2千円を追加し、
歳入歳出それぞれ、2億5,
789万円とするもの

歳入補正の主なもの

前年度決算による繰越金
で、2,970万2千円を
増額し、受益者負担金、一
般会計繰入金を減額

歳出補正の主なもの

前納報奨金、下水樹設置工
事費維持費のポンプ修繕や
汚泥処分費などを増額
(全員賛成で可決)



▲新地南工業団地B地区

○平成29年度新地南工業団
地整備事業特別会計補正
予算(第1号)

歳入歳出それぞれ、5,
288万1千円を追加し、
歳入歳出それぞれ、9,7
56万7千円とするもの

歳入補正の主なもの

前年度決算による繰越金
を増額
歳出補正の主なもの
職員手当等の人件費、予
備費を増額
(全員賛成で可決)

決算審査特別委員会

定例議会初日に、決算審査特別委員会を設
置し、委員長に遠藤満議員、副委員長に井上
和文議員を選任。平成28年度一般会計と、6
つの特別会計を審査した。

審査の結果は、すべて認定すべきとした。

決算審査は、9月7日から15日まで全体方式で行い、各
課ごとに決算書、主要な成果説明書などにより説明を受け、
各課事業、財産、債務の現状、各種事業の効果など町政全
般にわたり質疑・議論を行いました。

審査意見

一般会計

○歳入について

歳入決算額は131億
4,653万円で前年度比
12億4,563万円の減と
なっているが、町税は20億
9,737万円で前年度よ
り2,075万円の増とな
り、固定資産税においては、
前年度より3,014万円
増の16億2,213万円で、
前年度より1.9割の増と
なった。さらなる課税客体
の把握と財源の確保に努め
られたい。

○歳出について

平成28年度は復興創生期
間の初年度であり、復興ま
ちづくりの努力した年であ
る。歳出決算額は127億
5,381万円で、前年度
比10億8,004万円の減
となっており、不用額が6
億3,063万円、繰越額
が24億1,730万円とい
ずれも多額になっている。
尚一層、各種事業の費用対
効果を十分に検証し、今後
の事業執行に反映されたい。
・職員の健康管理に努め、
効率的で迅速な事業執行に



▲決算審査特別委員会の様子

あたられたい。

・新地駅周辺市街地復興整
備事業は、町づくりを左右
する重点事業であり、ス
ピード感ある取り組みを進
められたい。
・都市マスタープランを早
急に策定し、計画的な施策
展開を図られたい。
・子育て支援の充実を図り、
福祉施策の展開に万全を期
されたい。
・農林水産業の再生と振興
を図るため、関係団体と密
に連携し、農業振興地域整
備計画の見直しをはじめ、
各種事業に取り組みながら
担い手育成に努められたい。

平成29年第3回 議会臨時会

臨時議会は、7月31日に開催され、町長から提
案された釣師防災緑地整備工事(その6)請負契
約など議案3件を審議し、すべて原案のとおり可
決しました。

契約

○釣師防災緑地整備工事

(その6)請負契約

釣師地区の被災した沿岸



▲工事が進む釣師防災緑地

部の多重防衛を担う緑地整
備を行うため、7月21日に
指名競争入札に付した結
果、東北・猪狩特定建設工
事共同企業体代表者 東北

建設株式会社 代表取締役
社長 太田由美子が、8億
2,080万円で落札した
ので、請負契約を締結
(全員賛成で可決)

○ふくしま森林再生事業森
林整備業務委託契約

新地町駒ヶ嶺字西久保外
6地区 41畝の森林整備を
行うため、7月21日に指名
競争入札に付した結果、相
馬地方森林組合代表理事
組合長 武澤 治平が、9,
720万円で落札したの
で、請負契約を締結
(全員賛成で可決)

調停の申立て

東日本大震災により全壊
となった小川字原添地内の
建物について、推定相続人
4人から建物解体の同意を
求めたが、うち一人がこれ
に応じないため建物撤去請
求調停の申立を行うもの
(全員賛成で可決)

平成28年度 一般会計・特別会計決算状況

(単位：千円)

会計別	予算額	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	15,801,739	13,146,527	12,753,808	392,719	
特別会計	国民健康保険	1,239,563	1,292,822	1,181,871	110,951
	介護保険	779,548	797,510	772,979	24,531
	後期高齢者医療	165,534	164,658	163,938	720
	公共下水道	275,496	278,314	247,612	30,702
	農業集落排水	80,932	69,945	62,364	7,581
	新地南工業団地整備	478,860	155,757	58,611	97,146
	小計	3,019,933	2,759,006	2,487,375	271,631
合計	18,821,672	15,905,533	15,241,183	664,350	

・学力向上のため、学習支
援員やICT支援員の維
持・充実を図られたい。

医療費の抑制や税の軽減を
図られたい。
介護予防事業をより一層
進め、介護保険料の軽減を
図られたい。

国民健康保険特別会計

町民の健康づくりに努め

監査委員報告

監査委員による平成28年度一般会計と特別会計並びに、基金運用状況等の審査が、8月3日・4日・7日・8日の4日間にわたって行われた。審査の結果は、歳入歳出決算書等の関係書類は、いずれも正確であると認めたとおり。審査意見は次のとおり。

新地町の顔である新地駅周辺での市街地復興整備事業が進み、相馬港や町内工業団地への企業進出など、明るい展望がある。

新たな企業誘致や産業振興に積極的に取り組み、町の産業基盤の強化を図っていただきたい。また、震災から7年目を迎え、復興創生期間に入り事業も進んでいる中で、依然として事業量は多いと思う。このような中で、職員の職場環境や体調管理については業務遂行していく上では重要であると考え、徴収率の向上と滞納額の縮減に、一層の努力を期待する。

歳入

町税全体では20,744,242円の増加となっているが、町民税が8,320,663円の減額となつた。これは、固定資産税が103棟の新増築家屋などにより増加したものの、復興関連の企業の撤退等もあり法人町民税が減少となつたことが主な要因と見られる。

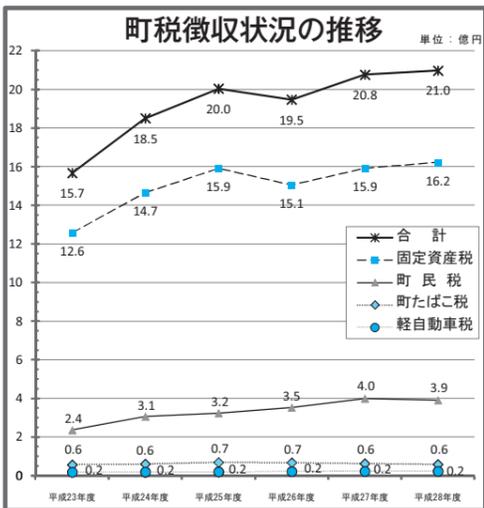
収納状況については、現年課税分が99.49%と前年と同様の高い徴収率となつており、滞納繰越分は41.28%で、前年度と比較すると改善方向に向かっている。

額になっている。

予算の積算内容を検証し、適切な予算額の計上と計画的な事業管理及び適正な事業執行に努められたい。

○平成28年度新地町健全化判断比率及び資金不足比率の報告

健全化判断比率は、良好な状態を示しているが、借入債など将来の負担増により、今後は厳しい財政が予想されるなか、経費の節減など最小の経費で最大の効果が発揮される財政運営に努められたい。



歳出

平成28年度は、住宅再建や復興まちづくりなどが進み、復興創生期間の段階に入った。しかし、復興事業などに係る繰越明許額が23億5千843万円、事故繰越額が5千886万円、不用額が6億3千万円と多

な状態を示しているが、借入債など将来の負担増により、今後は厳しい財政が予想されるなか、経費の節減など最小の経費で最大の効果が発揮される財政運営に努められたい。

決算審査 こんな質問が



職員採用試験で、必要としている建築・土木系の職員を採用できていない。また、町内出身者の採用もない。どの様な対策を取るのか

新卒者だけでなく、中途採用にも窓口を広げ必要人材を確保したい

人事評価制度も2年目である。評価により、仕事量・能力に見合った待遇を行っていないか

それが本来の目的であるが、すぐには難しい。職員と面談等行いながら進めて行く

水道事業の財政が悪化した時、消火栓の負担金を値上げした経緯がある。現在は黒字化で、水道料金も値下げしたので、消火栓負担金も値下げすべきではないか

管理者会等で話を出していく

電子行政費の社会保障、税番号制度に伴うセキュリティ強化事業では、どういう人が静脈認証に携わっているのか



▲静脈認証の様子

指定廃棄物保管事業の数量は、また、いつ搬出するのか

135世帯から回収し、フレコンバックで約110個を保管している。来年度以降に搬出予定



▲「ふるさと従兄弟 (い〜とこ)」スポーツ祭の様子

伊達藩ゆかりの5市町により伊達開拓「ふるさと従兄弟 (い〜とこ)」まちづくりサミットなど行っているが、広域連携による広域観光は行わないのか

観光客に県境はないので検討して行く

民生児童委員会の事務は、会福祉協議会の事務ではなく、本来、健康福祉課の事務ではないのか

平成25年から社会福祉協議会に委託している

バスストップ事業の進捗状況は

全体の63.8%で、平成32年度に完成予定

家賃滞納による町営住宅の明渡し請求訴訟の結果は

訴訟手続き委託等約90万円の費用を投じ、解決した

都市マスタープランの策定業務委託費を支出しているが、完成しているのか

現在、素案を庁内で検討している

奨学資金の貸付者が、地元に戻ってくる場合の優遇措置を検討すべきでないか



▲総合公園陸上競技場

総合公園の28年度の維持管理費は

こどもの森1,072,553円、町民野球場27,493,438円、総合体育館21,828,675円(改修費含む)

他市町村の対策等を参考に検討を進めていく

総合公園のテニスコートの芝生の痛みが甚だしい。張り替えすべきでないか

利用者からも同様の声があり、状況確認して対応する

一般質問

ただ
ここを質す!

町政を問う

今期定例会の一般質問は、9月19日・20日の2日間行いました。

議員5名からは11件の通告があり、新地駅周辺市街地復興整備事業などについて質問しました。

各議員からの質問内容は、左記のとおりです。以下、主な質問(Q)と答弁(A)を、登壇した順にお知らせします。

5名の議員が質問

(通告順)

寺島浩文議員 P9

- 1 新地駅周辺市街地復興整備事業について
- 2 新地駅周辺地域エネルギーセンター事業について

吉田博議員 P10

- 1 北朝鮮のミサイル発射情報に対する対応について
- 2 東日本大震災の復旧・復興の現状について

八巻秀行議員 P11

- 1 更なる町人口の増加策について
- 2 JR新地駅の課題について
- 3 米をめぐる新農政の取り組みについて

齋藤充明議員 P12

- 1 のりあいタクシー(しんちゃんGO)の更なる充実に向けた取り組みについて
- 2 交通事故防止対策について

井上和文議員 P13

- 1 農政問題について
- 2 再生可能エネルギーの町づくりについて

スマートアグリ+6次化施設の事業者は

町長 情報収集・発信を行いながら早期の立地を図る

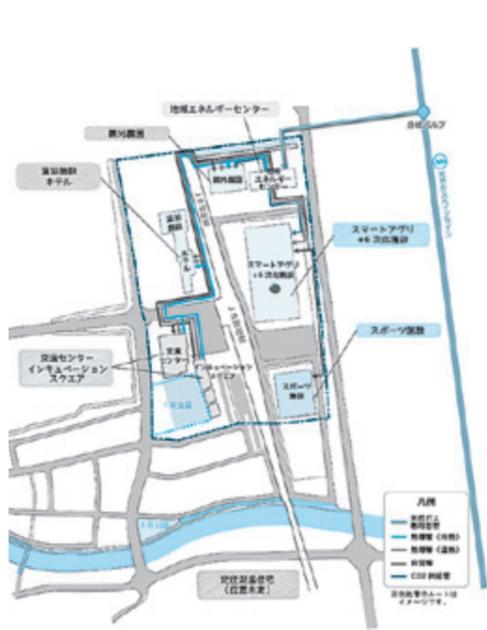


寺島浩文 議員

議員 今年度設立予定の地域エネルギーサービス会社で、温熱、冷熱で27.5割の需要家となるスマートアグリ+6次化施設の事業者が、まだ決定していない。この事業者の決定が遅れるほど累積赤字の解消が遅れる。早期の事業者決定が望まれるが、現状はどの様になっているのか。

町長 昨年8月に事業者選定を行い、一旦町内の事業者に決定したところだが、その後辞退があり、現在まで新たな進出事業者は決まっていない。町では、様々なルートを通して情報収集・発信を行いながら早期の立地を図りたい。

議員 予定地は、面積が90㍓ほどと聞いている。スマートアグリ+6次化施設を建設するという事であれば、生産プラント・加工施設として販売店舗と駐車場も必要になってくる。何を生産するかはともかく、90㍓ほどでこの業態を運営して行くのは難しいのでは



▲スマートアグリ+6次化施設の予定地

いか。

面積を拡大するために、県道相馬亘理線の東側農地に用地を求めているのか。

企画振興課長 単純に生産施設という事であれば、現在事業者とやり取りをしている中でも90㍓では小さいという話も出ており、将来的な事業の拡大という事も含め、色々と協議している。6次化施設という事で、この場所を加工・直売だけの利用という事であれば、90㍓では大きすぎるので、事業者とどんな形、どんな内容がいいのか詰めて行き、早期に事業者を決めて行ければと考えている。

ればと考えている。

新地駅周辺の駐車場整備について

都市計画課長 ゲートを設け低価格で

議員 基本的に駐車場は、無料にするべきではないか。特に、新地町を仙台のベッドタウンとしての位置づけと考えると、新地に住居を構え、新地駅に向かうときは、ほとんどの方は車である。仙台勤務の方に新地に移住定住を考えたときに、駐車場が無料という、そのくらいの優遇策があってもいいのではないか。今

大型商業施設誘致の状況は

町長 誘致業務を継続している

議員 新地駅周辺市街地復興整備事業の事業区域を拡大し、大型商業施設スーパーマーケットを誘致する計画はどの様になっているのか。

町長 事業区域拡大の手續きについては、国、関係機関と事業認可や財源等の事務協議を行っている段階である。誘致状況については、出店希望事業者との相談の継続と、新たな事業者への誘致業務を行っている。



吉田 博 議員

ミサイル発射情報で 町民対処は

町長 行動パンフを配布した

議員 去る8月29日午前6時頃と、9月15日午前7時頃、町内にサイレンが鳴り「ミサイル通過、ミサイル通過、先ほどの地域の上空をミサイルが通過した模様です。頑丈な建物や地下に避難して下さい。不審な物を発見した場合には決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい」とこのような音声とテロップが流された。

町民はどのような行動をとったらよいのか不安だ。今後の取り組みを問う。

町長 北朝鮮による弾道ミサイルとみられる飛翔体発射に伴い、本県を含む12道県にJアラートによる情報伝達を行っており、新地町の国民の保護に関する計画に沿って、事態認定前の情報収集や国・県からの緊急事態連絡室体制を整えていたところである。

また、避難等の取り組みについては、9月5日に「弾道ミサイル発射時の行動について」を各世帯に配布し

周知を図った。

議員 室内の防災行政無線が鳴らなかつたという方もいた。

屋内型防災行政無線の点検、そして「新地町国民保護計画」を見直しする機会にしてはどうか。

総務課長 町には防災行政無線が鳴らなかつたとの通報は入っていないが、必要であれば広報や、ホームページで周知したい。

また、国民保護計画の見直しについては、今後、国・県に準じた形で見直しを行って行きたい。

議員 Jアラート鳴動で、学校の対策はあるのか。

教育長 教育委員会としては、通学時の想定はしていなかったもので、改めて在校中、在宅中、通学中を想定し、子供110番の家だけではなく、町民の方々の協力も考慮した対策をたてたい。



▲老朽化した老人憩いの家と農業後継者センター

震災復興の進捗は

町長 30年度完成を目指す

議員 当初の災害復旧・復興計画と、今進めている復旧・復興計画では、変更がどの程度あるのか。また、現在の進捗率と、完成時期、合わせて今の取り組み状況について伺う。

町長 第一次復興計画は平成24年1月制定し、情勢の変化により、平成27年6月

老朽化した憩いの家等の対処は

町長 安全性を重視し、閉鎖も

議員 老人憩いの家や農業後継者センターは、このまま使用するのか。また、駅前に複合商業施設や、民間の温浴施設が出来ることから、今後の老人憩いの家のあり方を問う。

町長 2施設とも建築から45年経過しており、老人憩いの家の利用者は年々減少している。駅前に民間の温浴施設が出来ること、老朽化による老人憩いの家の安全性を考慮すると、閉鎖も考慮する必要がある。

行政の特徴 トータル的に発信を

町長 町の良さや特徴を一体的に PR・発信



八巻秀行 議員

議員 総務省が7月5日発表した人口動態調査では、県内でも多くの市町村で人口減少が見られた一方で、子育て支援策、若者定住促進住宅整備等の効果から、新地町、大玉村では3年連続で人口が増加している。当町の住民基本台帳登録人口は、6月1日現在8,070人で、3年前から比較すると119人増えている。

当町の特徴ある施策、先駆的事业（国のイノベーションコースト構想によるLNG基地建設、若者定住促進住宅整備、新地南工業団地造成、出生祝い金制度、18歳までの子ども医療費無料化、保育所同時入所時の2人目以降の保育料無料化、延長・一時預かり保育、放課後児童クラブ、新規就農支援、奨学金貸与制度、学習支援員・ICT支援員配置、食育推進等）を、企画振



▲元気いっぱい運動会

興課が各課からの売出し策を収集し、町政の総合版のパンフレット作成やネット上での発信で更に人口の増加策になると思うがどうか。

町長 町は、第5次総合計画後期基本計画で目標人口8,700人達成に向け、工業用地の整備や定住促進住宅整備など、雇用の場の創出と住宅の供給に努めており、子育て・教育の充実

と各種施策を一体的に進めることで人口増加を図っている。今後も、新地町周辺市街地復興整備や地域エネルギー事業、防災緑地整備事業、子育て支援事業、教育の情報化事業、食育推進事業など「総合計画後期基本計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられた特色ある先駆的な事業・施策をしっかりと進め、町の良さや特徴を一体的に発信して行く。

JR新地駅の課題解決を

町長 テレビ、屋外防災行政無線機、防犯カメラの設置を前向きに検討

議員 駅は町の顔、町の玄関と言いつつ、全く理想に合っていない。付近にはまだ建物もなくテレビ、ラジオもない情報の少ない現状を、町はどう認識しているか。多くの駅利用者の危機管理をどう考えている

か。駅利用者にも見えるテレビ、屋外防災行政無線機、防犯カメラの設置をすべきでないか。

町長 駅舎内の危機管理体制は、JR東日本の管理システムにより運行情報や災害・防災情報などがリアルタイムで伝達されており、利用者や乗車券委託販売員の安全が図られている。また、町からは、ラジオ付き防災行政無線戸別受信機を設置して、町の情報を提供している。

今後ともJRや委託販売員と情報を密にし、テレビ、屋外防災行政無線機、構外の防犯カメラの設置を前向きに検討する。

議員 駅の施設として以前にも要望しているスイカのチャージ機を、駅利用の利便性を高め、売り上げを伸ばすためにもJRに対し、強く要望すべきでないか。

企画振興課長 これまでも要望してきたが、今後、各種協議会等を通じ要望して行く。



齋藤充明 議員

しんちゃんGOの改善策は

町長 来訪者の利用も含め検討する

議員 平成16年10月からスタートしたのりあいタクシーしんちゃんGOは、電話予約による戸口から戸口まで低料金で送迎する。利用状況、運行経費にかかる町負担及び評価は。

町長 利用状況は、平成18年度の一日平均120人をピークに年々減少傾向にあり、28年度は一日平均84人となっている。利用者は60代以上が92割を占めている。運営経費は、年間2千7百万円から2千9百万円で推移しており、町の補助金は、28年度で2千3百万円となっている。

しんちゃんGOは、町の身近な公共交通として定着していると評価している。**議員** 新地駅前にはホテル・温浴施設、交流センター等が立ち並ぼうとしている時に、タクシーが1台もとまっていけない。

駅前開発と公共交通は一体的に考えるべきだ。しんちゃんGOで駅を結ぶ路線を含め抜本的な見直しが必要

要ではないか。**町長** 今後、利用者の減少に歯止めをかける取り組みや町外からの来訪者も利用できるシステムを検討し、

相善橋前交差点に信号機を

町長 今年度中に設置する

議員 昨年6月29日に駒ヶ嶺の相善橋前で交通死亡事故があり、その後、安全対策が講じられたが、今もヒヤリハットする交差点だ。信号機の設置が必要だ。

利用促進と町の活性化を図り、新たな時代に即した地域交通サービスを築いていく。**町長** 相善橋前北側交差点の信号機の設置については、以前から要望していたが、相馬警察署から「今年度中に信号機を設置する」との報告があった。



▲今年度中に信号機が設置される相善橋前交差点

免許返納者への支援は

町長 しんちゃんGOを活用して支援

議員 相馬警察署管内での高齢者の運転免許証返納は、今年1月から7月末まで79件、そのうち新地町は13件。高齢運転者への認知機能検査を強化した改正道路法が施行されたことで増加したようだ。

問題は、免許証を返納した高齢者をサポートする環境整備が遅れていることだ。自主返納者への支援は。

町長 自主的に免許証を返納された方の交通手段の確保は重要と考えており、高齢者の足として親しまれるしんちゃんGOを活用した支援の実施に取り組む。



▲交通安全パレード(9/27)

再生可能エネルギーの町づくりを

町長 町民参加で、新たな町づくりを進める



井上和文 議員

議員 第五次総合計画では、環境未来都市構想の実現に向け、再生可能エネルギーの導入や、エネルギーの地産地消等、復興、環境、経済が調和した持続可能な環境都市を目指すとしている。また、福島県は再生可能エネルギーを2040年に県内で消費する電力の100割を目指し原発に頼らない社会を作ろうだ。

町長と企画課長は、それぞれドイツを訪問した。ドイツの先進例に学び、住民が参加する再生可能エネルギーの町づくりをどのように進めるのか。

町長 福島県では、平成24年に「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン改訂版」を策定し一次エネルギー供給に占める再生可能エネルギーの割合を2040年には100割相当以上を生み出すとしている。

町では、平成24年に「新地町環境未来都市計画」を策定し、再生可能エネルギーの利用量を平成33年に



▲再生可能エネルギーのイメージ

8,000割にする目標を掲げ、平成28年の実績は6,470割で、目標値の129割を達成した。内訳は公共施設の太陽光発電、民間事業者のメガソーラー、戸別の住宅用となっている。

石炭火発があり、またガス火発も計画されているが、再生可能エネルギーを推進し、スマートコミュニティ事業による自立分散型の地域エネルギーシステムの実現を目指す。

議員 先般、新地町で開催された「新地町地域エネルギー

ギー国際フォーラム」では、新地高校の生徒達が、再生可能エネルギーを勉強し「エネルギー自給200割の町づくりを進め町全体へと広げていく」との提言があった。

若者の提言に込めるためにも、町全体のエネルギー使用量、炭酸ガス排出量等を正確に把握し、企業、大学とも連携し、地域、町民の理解、協働のもとにビジョンを作り進めるべきだと考えるが、所見を伺いたい。

町長 スマートコミュニティ事業の中で、民間事業者の知識、経験を取り入れ、国立環境研究所と協定を結び、連携している。フォーラム、講演会、ワークショップ等を通して町民参加を促しながら、復興創生の町づくりを進めたい。

本格的な担い手対策を

町長 課題を検討していく

議員 相馬観測所における8月の日照時間は、37.4時間(昨年17.9時間)、日平均気温も22.8度(平成24年28年の平均24.6度)と低く、台風による倒伏など、多くの農家から不安の声がある。また、認定農家83名の高齢化等もあり風評被害の一掃、消費拡大、企業誘致のような優遇策の検討、姉妹都市(伊達市等)との連携交流など、本格的な担い手対策を進めるべきだ。

町長 8月15日の作況指数は、浜通りは「やや良」と出たが、9月に入ってからJA新地総合支店の調査では、いもち病は少なくカメムシ、紋枯病が多いようだ。情報収集し注視していく。農業座談会等で新規就農者への助成制度等を説明、現在、町内の2名から相談を受けている。新地の農家の半分近くは兼業農家であり、現場に出て声を聞き、交流や情報収集を進め、様々な課題を検討していく。

常任委員会レポート

総務文教

○学校訪問(小・中学校と)、生涯学習施設の現状と課題

(開催日 7月12日)
学校訪問では、授業参観や校舎見学、校長との懇談を通し議論を深めた。学力向上のため、学習支援員の増員や、ICT支援員の維持について、今後も強く要望する。



▲授業の様子を視察(福田小学校)

また、ICT機器の更新を計画的に進める必要がある。各教室のエアコン設置についても前向きに検討すべきと思われる。

生涯学習施設の現状と課題については、候補地の現地調査を行った。現在、不動産鑑定を行っており、その後用地の交渉に入るといえる。早期の建設をはかられたい。

○課税、徴収の現状と今後の課題

(開催日 8月9日)
町税の徴収率は99.22%と、課をあげての努力はみられるが、収入未済が約1,600万円ある。震災後に、作業員として住所を置いたものの、その後の行方がつかめず、督促不能となつていく方もあると聞く。尚一層の努力をされたい。新たな課税対象として、

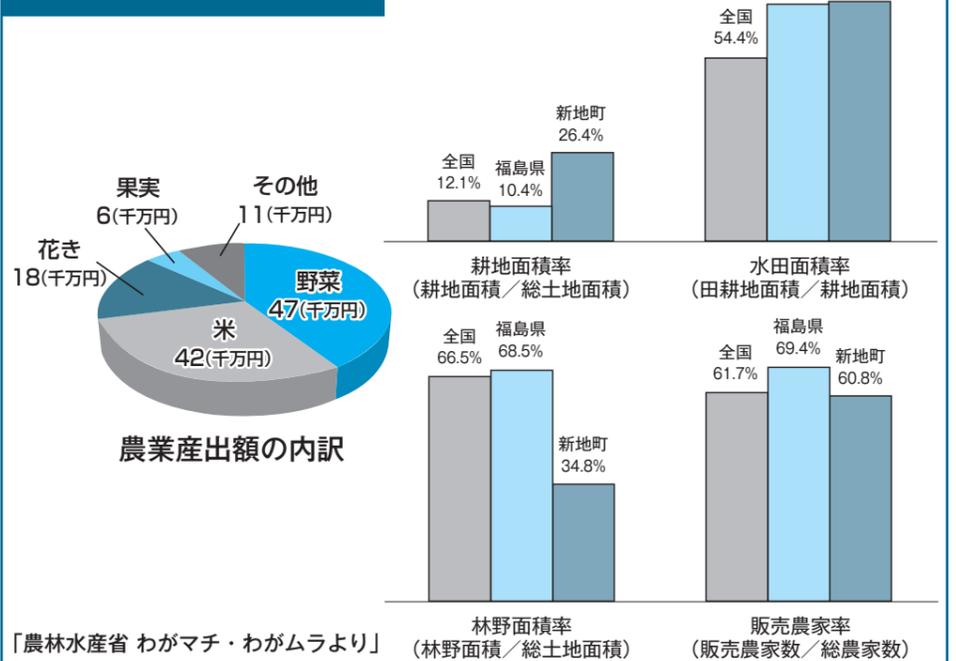
LNG関連事業の固定資産税が考えられるが、復興特区ということで、5年間は課税免除となる。免除後の課税額は火力発電所の例からみると、50%位の課税額と思われる。新たな課税対象の把握をしっかりと行われたい。

産業厚生

○農業振興の現状と課題

(開催日 7月28日)
新地町は、耕地面積率と水田面積率は県内平均より高い位置にあるが、販売農家率については県内平均より低い。その要因としては、高齢化や専業が少ないということが考えられる。農地の集積率は約53%であり、県内平均の約32%からみれば、かなり高い位置にあり、中間管理機構ができる前から土地の貸し借りをしている。農業産出額(平成26年度)は、米が約4億2,000万円、野菜類は約4億7,

新地町の農業の状況



000万円となつている。現在、野菜ではニラが大きい部分を占めているが、生産者の声を聞き、産出農家が増えるような施策の展開をはかられたい。平成29年度で10億7,500

00円の米の直接支払交付金がなくなる。国、県、農協等とも連携をしながら、販路拡大、風評被害の一掃、6次化の推進等も含め、担い手確保につなげられたい。

行政視察研修報告

産業厚生

研修日程 7月12日

研修先 石川県中能登町

・移住定住促進にかかわる住宅施策と子育て支援の成果、今後の計画等について

中能登町は、平成17年に、鳥屋町と鹿島町と鹿西町の3町が合併して誕生。能登半島のほぼ中央部に位置し、北は七尾市、南は羽咋市、西は志賀町、東は富山県氷見市と接し、海には面していない。

交通は、石川県金沢市、富山県富山市からそれぞれ約50kmの距離にあり、金沢市へは電車・車とも1時間あまりの距離であり、通勤・通学の圏内となる極めて良

好な立地条件を有する。人口は約1万8千人で、高齢化率は34%を超えているが、「住んでよかったと思える町づくり」を柱に、

①少子化対策として出産祝い金制度を創設し、第1子10万円から最高50万円を支給、②児童医療費の無料化として高校卒業までの医療



▲子育て施策などの説明を受ける(中能登町)

びと勉強、スポーツ、文化活動に励み、優れた成績を修めている。こうした施策により、能登半島で唯一、人口減少による消滅可能性都市から外されている。このような、子供からお年寄りまで、生き生きと安心して暮らせる施策は、当町においても見習うべき点がある。

研修日程 7月13日

研修先 石川県輪島市

・官民協働による観光と地場産品の振興について



▲観光と地場産品などを研修(輪島市)

つ朝市には、1年を通じて漁れる豊富な魚介類とその加工品に併せて、地場生産の野菜や、室町時代からの歴史を有し伝統的工芸品に指定された輪島塗製品などがならべられ、日本全国各地から、または海外からも、観光客が年間約110万人訪れている。

輪島市は、能登半島の北西部に位置し、80km以上に及ぶ海岸線は、能登島国定公園に指定され、北方海上は沿岸漁業の拠点となっている。物々交換が起源と言われ、1200年の歴史を持つ

また、海女漁は、350年以上の歴史があり、沖合48kmに位置する船倉島・七ツ島などの近海で自生する岩モズクを、素潜りで手摘みする。岩モズクの加工商品開発プロジェクトが、団体・企業・学校等の官民協働により実施され、6月に販売をスタートした。当町の近隣市町村においても、地場産品による朝市の開催が活発となつており、産業振興と地域活性化につなげている。輪島市の朝市は、観光のために、全ての業種が協力して進めるといふ取り組みが行っており、当町においても見習うべき点がある。

議会日誌

7月

- 9日 護衛艦「すずつき」相馬港入港記念行事
- 10日 新地町少年の主張大会
- 11日 議会広報編集委員会
- 12日 産業厚生常任委員会行政視察(石川県中能登町、輪島市)
- ~14日 総務文教常任委員会(学校訪問)
- 14日 「夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動」出動式
- 14日 相馬港建設促進期成同盟会総会
- 19日 定期監査
- 24日 県市町村総合事務組合臨時会
- 24日 県議長会理事監事合同会議、要望活動
- 24日 県議長・副知事との懇談会
- 27日 例月出納検査
- 28日 産業厚生常任委員会
- 28日 伊達藩「ふるさと姉妹都市・歴史友好都市」連絡協議会交流会
- 29日 ふるさととい〜とこスポーツ祭(亘理町)
- 31日 議会運営委員会
- 31日 第3回新地町議会臨時会
- 31日 県後期高齢者医療広域連合議会定例会

8月

- 3日 決算審査
- ~8日 相馬地方市町村議会議員会親善パークゴルフ大会
- 4日 やるしかねえべえ祭り
- 5日 県民スポーツ相双地域大会開会式
- 6日 12時間ソフトボール大会
- 6日 東北横断自動車道・常磐自動車道・東北中央自動車道建設促進期成同盟会合同大会
- 8日 県議長会要望活動
- 9日 総務文教常任委員会
- 21日 石油開発新地寮食堂棟完成披露
- 24日 県町村議会正副議長・事務局長研修会
- 24日 相馬地方町村議会正副議長・事務局長合同会議
- 25日 相馬地方広域水道企業団議会定例会
- 29日 例月出納検査
- 29日 県町村議会議長会東京電力ホールディングス要求活動

9月

- 4日 議会運営委員会
- 5日 新地町地域エネルギー国際フォーラム
- 7日 第4回新地町議会定例会
- ~21日 新地町敬老会
- 16日 例月出納検査
- 29日

10月

- 2日 相馬方部衛生組合議会定例会
- 2日 農林水産省と新地町との意見交換会
- 6日 議会広報編集委員会
- 12日 議会広報編集委員会

親善パークゴルフで交流



親善パークゴルフ大会が8月4日に南相馬市パークゴルフ場で開催され、齋藤充明議員が選手宣誓を行った。

12時間ソフトボール大会に参加



相馬市のNPO法人が主催する12時間ソフトボール大会が、8月6日二の丸球場で開催された。相馬市議会など、参加団体と親交を深めた。

新地町敬老会



町敬老会が9月16日に総合体育館で開催され、招待者(75歳以上1,299人、金婚夫婦6組)の長寿と健康を祝った。

編集後記

終戦から72年を迎えた8月15日全国戦没者追悼式が行われた。

伯父の軍隊時代の上官が会津から我が家を訪れた。松葉杖を使い玄関で、息子さんを戦死させ、私が生き残り申し訳ないと何度も土下座をしたこと、中国の戦地で銃撃戦により伯父は銃弾が下腹部を貫通して戦死したこと、悲惨な戦争の体験話を聞いた。伯父の親、兄弟、親戚は嗚咽した。当時中学生の私でしたが、今でも忘れることが出来ない。北朝鮮は9月15日、ミサイルを発射し北海道上空を通過、襟裳岬の東約3,700kmに到達した。Jアラート(全国瞬時警報システム)が作動した。戦争は絶対反対だ。

(二宅信幸委員)

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 寺島 浩文 |
| 副委員長 | 齋藤 充明 |
| 委員 | 八巻 秀行 |
| 委員 | 三宅 信幸 |
| 委員 | 吉田 博 |